

■福島県飯舘村の原発災害の現状

災害対策本部長（飯舘村長） 菅野典雄

3月29日の配信ができなかったこととお詫びいたします。

なお、本日より役場の通常業務拡大に向けて災害対策本部を縮小します。現在、レポート配信頻度等の見直しを検討しています。詳細が決定次第、メール等でお知らせします。村内の状況等は、継続的に発信できるような仕組みを構築していきます。

放射線物質の対策を徹底するため、村民に配付するマスク（特に子ども用）が不足しています！また、環境調査等に用いる使い捨て手袋、使い捨てシューズカバー、各施設の入口で使用する粘着性防塵マット（精密機械工場などで使用するもの）などの物資も支援いただきますようお願いいたします。

村では放射線物質対策に、万全の対策を取るための物資、資材等をストックしていきたいと考えています。

（1）昨日の出来事

●放射線量等の測定の実施

京都大学原子炉実験所・今中助教を団長とする調査団と村の連携によって、村内の空間線量を測定（100地点超）し、一部で土壌、水のサンプリングを行った。データは大学で分析後、対策を講じるための資料としてまとめていく予定。

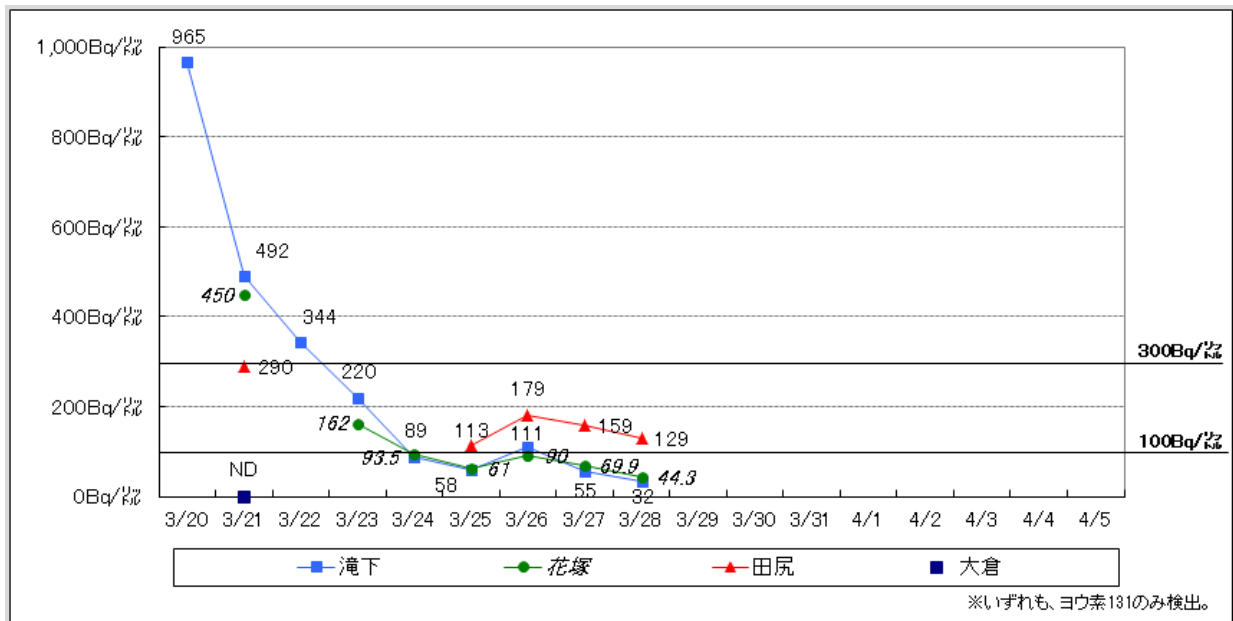
（1）放射線の状況

①大気【グラフは最終ページ】

役場周辺モニタリングポスト（地上1m）： 7.91 μ Sv/h（11:00 現在、晴れ）

②水道水

3浄水所で水質検査を継続中。田尻浄水所で100Bq/リットル超であるが、いずれの浄水場でも漸減している。しかし、数値の安定までは「安全宣言」を見送ることとする。



(2) 災害対策

①甲状腺検査の実施

明日（30日）、10時～15時に役場議場で、子どもを対象とした甲状腺検査を実施。

②義援金の支給

浜通りの13市町村に対して、1億円の一時義援金が支給される。

(3) 村の生活

①飲料水・生鮮野菜等支援物資の配送

- ・昨日に引き続き、建設行組合、建設業事業者、自衛隊の協力を得て18地区に飲料水（一人1箱＝2リットル×6本）の配送を実施。また14地区に対して、支援物資の配達も行った。配送は、今回が最後となる。なお、飲料水については水道水の「安全宣言」までに時間がかかる場合には、再度実施する可能性もあり。但し、村民全員に対する配付を再実施するためには、ストックしている水の量が不足。
- ・おむつ、生理用品等の支援物資は、多くの在庫を抱えている。

②農協

総合支店（草野地区）は、明日（30日）から通常営業を再開。飯樋支店（飯樋町地区）は金融以外の営業を再開する予定。

③郵便、宅配便等

- ・日本郵便は、大部分が福島原発30km圏に含まれている蕨平地区を除いて配達を再開。
- ・ヤマト運輸は宅配便のみが再開し、メール便は休止を継続。

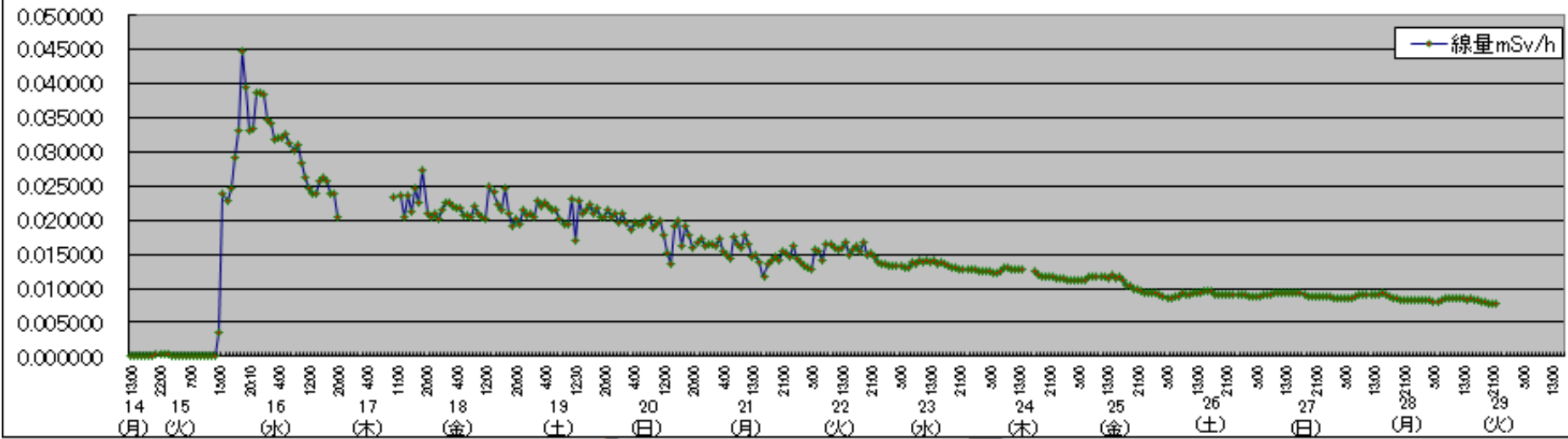
④学校の新学期対応

- ・保育所、幼稚園、小・中学校の通学方法は複数の選択肢を用意するため、関係者と協議中。
→村内にいる児童・生徒は、4月一杯、自宅待機。
- ・相馬農業高校飯館分校は、当面休校に決定。

【文中に出てくる地名】



ガンマ線量の時間計測【mSv/h】



ガンマ線量の時間計測(3/15 15:00~)【mSv/h】

